

ドーピング まめちしき!

Vol.8

端元医院 院長 端元 徹

ドーピング検査を行う検査員(DCO)の経験者

どんな検査を受けるの？(その3)

今回は実際に採尿の場面を説明します。(男性を例に説明します。というのも検査員は同性の検査員ができないため、女性の立会の経験がありません。基本は同じと思ってください)

まず、前回説明しましたように採尿カップを持ってトイレに移動します。ドーピング検査室内に採尿室がある場合もありますが、一般的には室外の別の場所のトイレで採尿することがほとんどです。採尿カップの蓋はビニール袋をハサミで切りすぐに出せる状態で袋から出さずに持ち運ぶと異物の混入などが防げます。担当の検査員の指示に従ってください。トイレへの移動は必ず同性の検査員が付き添います。採尿を始める前にまずシャツは胸までまくり上げ、長袖の場合は袖もまくります。ズボンとパンツは共に膝まで下げます。初めての検査では恥ずかしいかもしれませんが、恥ずかしがらずに行動してください。股をこのようにするのは、器具などを使った不正な採尿行為を防止するためです。恥ずかしがってしまうと検査員からは怪しい行動(不正行為)であると判断される場合がありますので注意しましょう。その後、採尿カップに規定量(90ml)以上採尿をします。排尿の際、検査員は必ず選手の尿道から尿が出ていることを確認する必要があります。これもチューブなどの器具を使った不正行為を防止するためです。腸そうとするような行為は絶対にしないでください。

採尿後は蓋を閉めますが、まずは自分と検査員双方が見えて、監視のできる場所に採尿カップを置きます。残りの排尿を済ませ、衣服を整えた後、蓋が確実に閉まっていることを確認してください。きちんと蓋が閉まっていない場合は、検体ボトルへの分注の際にこぼれることがありますので、十分確認してください。その後、手洗いの場合なども必ず自分と検査員双方が見える場所に採尿カップを置きます。時々検査員に採尿コップを「ちょっと持っていてください」と言う選手がありますが、検査員は一切触ることはありません。万が一、検査員が触れた場合には、検査室に戻ってから検査責任者に報告し、報告書に状況を記入するようにしてください。以上で採尿は終わりです。



採尿カップ

※現行とは異なる場合があります



- ① 採尿カップは必ず選手自身で管理し、常に視界の中に置き、他人に触らせない。
- ② 採尿カップを検査員から隠すような行為はしない。
- ③ 恥ずかしがらず堂々と行動をする。